

( 資 料 配 付 )

作 成 年 月 日	平成 29 年 2 月 20 日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

## 第 4 回県民モニターアンケート「県民の防災意識及び取組状況」の調査結果

第 4 回県民モニターアンケート調査「県民の防災意識及び取組状況」の調査結果についてとりまとめました。

アンケート結果については、本県の防災・減災対策の推進及び防災力強化県民運動を展開していく上で活用します。

＜参考－対象者及び回答者属性＞

	対象者	回答者	回答率	
総 数	2,480	1,761	71.0%	
性別	男 性	1,216	957	78.7%
	女 性	1,264	804	63.6%
年 代 別	10～20代	183	93	50.8%
	30代	337	192	57.0%
	40代	496	331	66.7%
	50代	467	338	72.4%
	60代	544	441	81.1%
70代以上	453	366	80.8%	

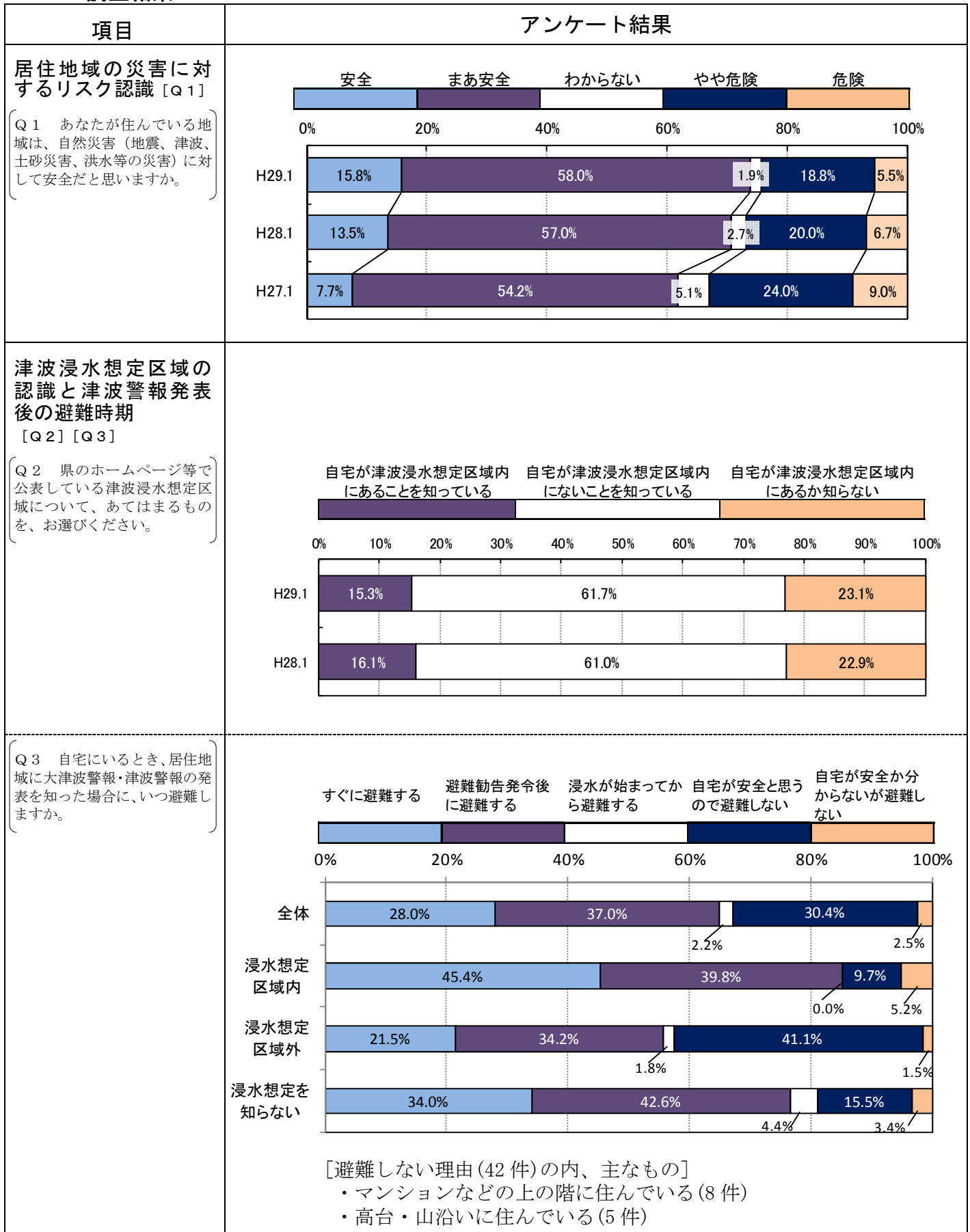
### 1 調査概要

- (1) 調査対象者：県民モニター2,480人
- (2) 調査期間：平成29年1月5日(木)  
～1月19日(木)[15日間]
- (3) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (4) 回答者数：1,761人(回答率71.0%：48回中9番目の高さ)

### 2 調査結果の概要

項目	結果概要
居住地域の災害に対するリスク認識	住んでいる地域が、自然災害に対して「安全(15.8%)」だと思う人と「まあ安全(58.0%)」だと思う人は、合わせて73.8%となり、昨年度と比べて3.3ポイント増加した。
津波浸水想定区域の認識	自宅が津波浸水想定区域内に「あることを知っている(15.3%)」と「ないことを知っている(61.7%)」を合わせた77.0%の人が、津波浸水想定区域を認識している。
津波警報発表後の避難時期	「すぐに避難する」と「市町の避難勧告等が発令された後に避難する」との合計は、全体で65.0%となり、自宅が津波浸水想定区域内にあると知っている人に限ると、85.2%となった。
防災情報を入手している方法	「テレビ(72.2%)」が最も多く、次いで「Yahoo等のポータルサイト(43.4%)」、「ひょうご防災ネット(39.6%)」が多い。「新聞(20.1%)」は、昨年度より12.9ポイント減少した。
望ましい避難情報提供手段	「防災無線やサイレン(62.4%)」、「市町の広報車や消防車両(53.7%)」といった行政が提供する情報のほか、「テレビ(60.1%)」が多い。また、「緊急速報メール[エリアメール](58.9%)」が、昨年度より18.4ポイント増加した。
災害への備え	「飲料水や食料品の備蓄をしている(67.6%)」が最も多く、続いて「家具の固定(42.3%)」、「携帯トイレ又は凝固剤の備蓄をしている(25.7%)」となった。 飲料水や食料品の備蓄量について、「1日～2日」と答えた人は、飲料水で44.2%、食料品で44.7%、「3日」と答えた人は、飲料水で33.7%、食料品で33.4%であった。
要援護者の避難への協力	協力できることは、「安否の確認(63.3%)」が最も多く、続いて「避難所等までの避難誘導・補助(52.2%)」、「災害状況や避難情報などの伝達(51.6%)」が多く、「協力できそうにない(8.1%)」と答えた人は少数であった。 協力できそうにない理由は、「自分や自分の家族が避難するだけで手一杯だから」「自分の年齢や体調等を考えると、自信がないから」、「自力で避難することが困難な人がどこにいるかわからないから」が多かった。

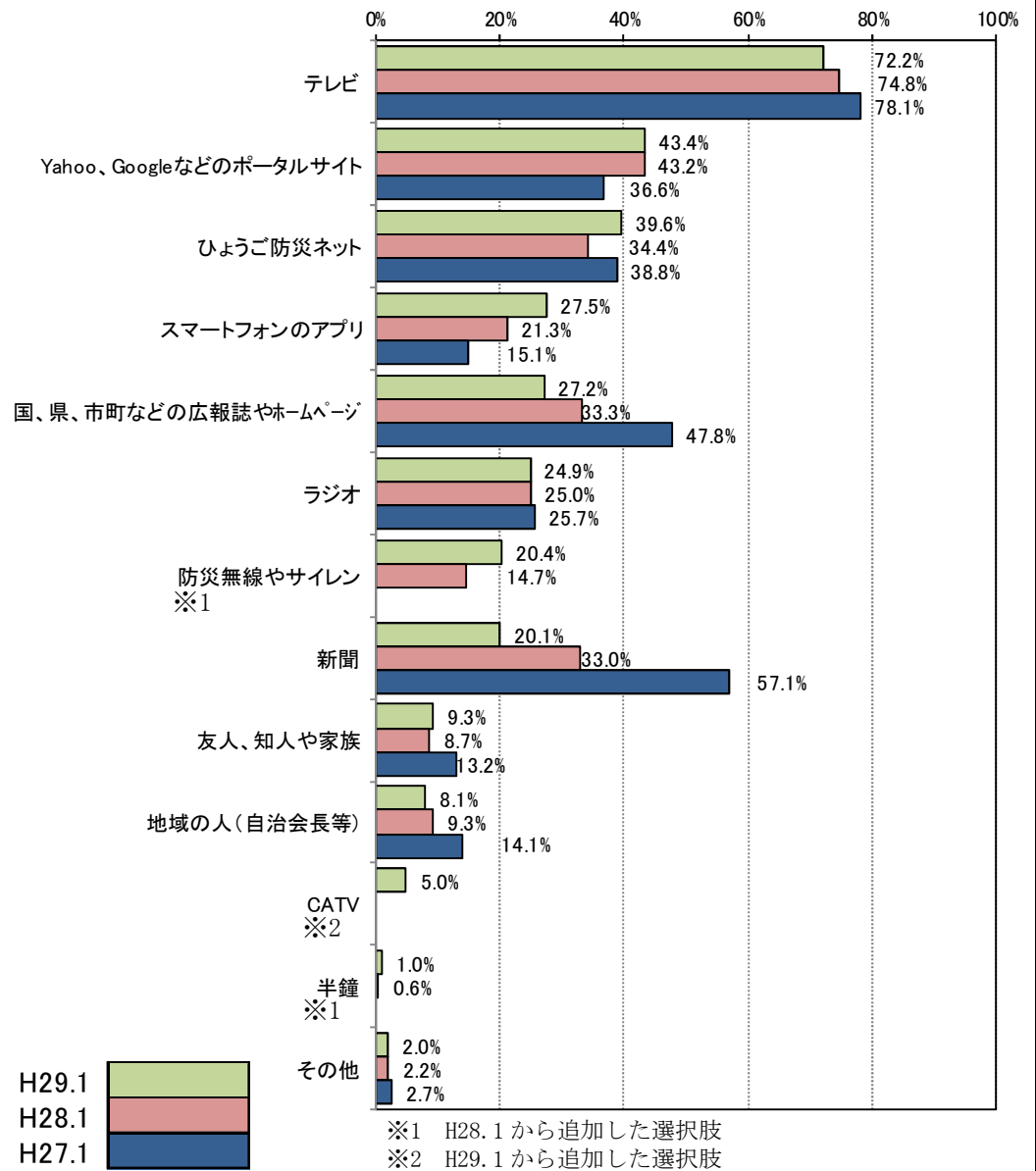
### 3 調査結果



日常的に防災情報入手している方法 [Q4]

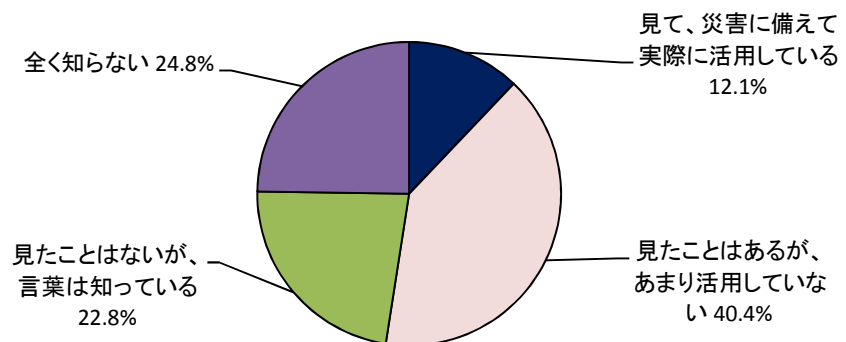
(いくつでも選択)

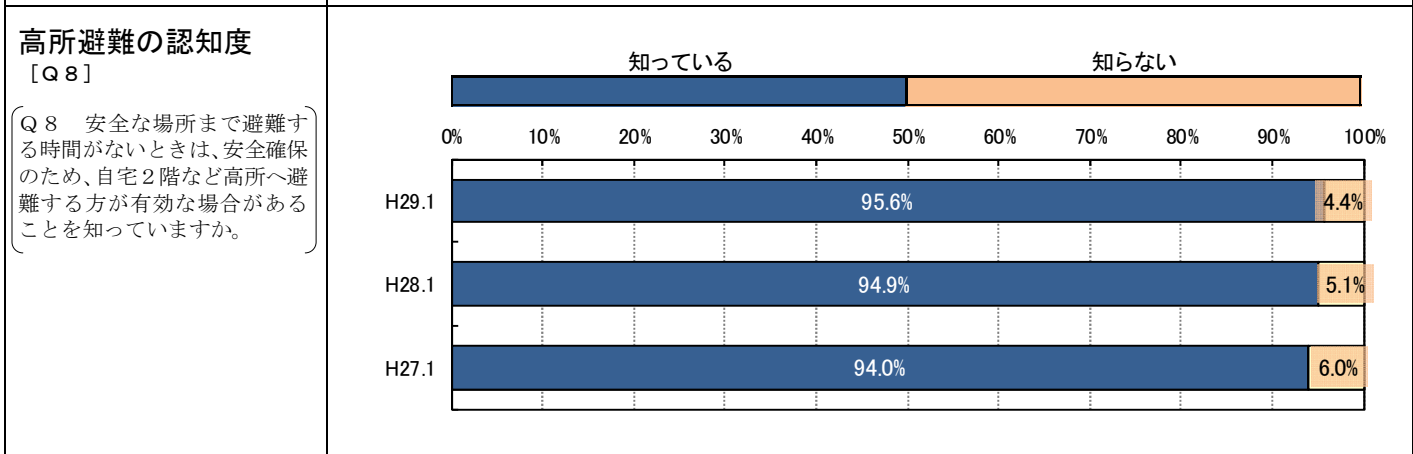
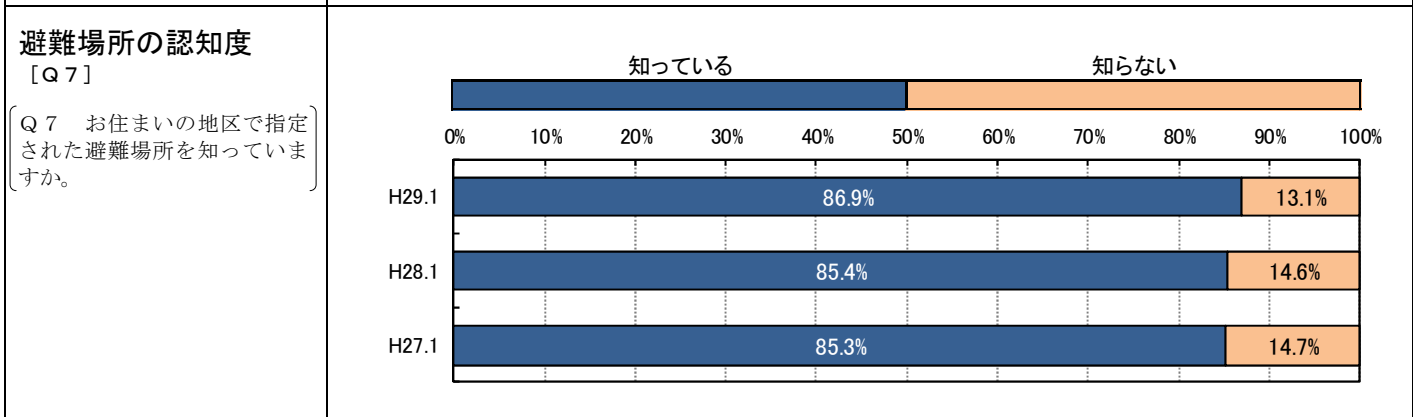
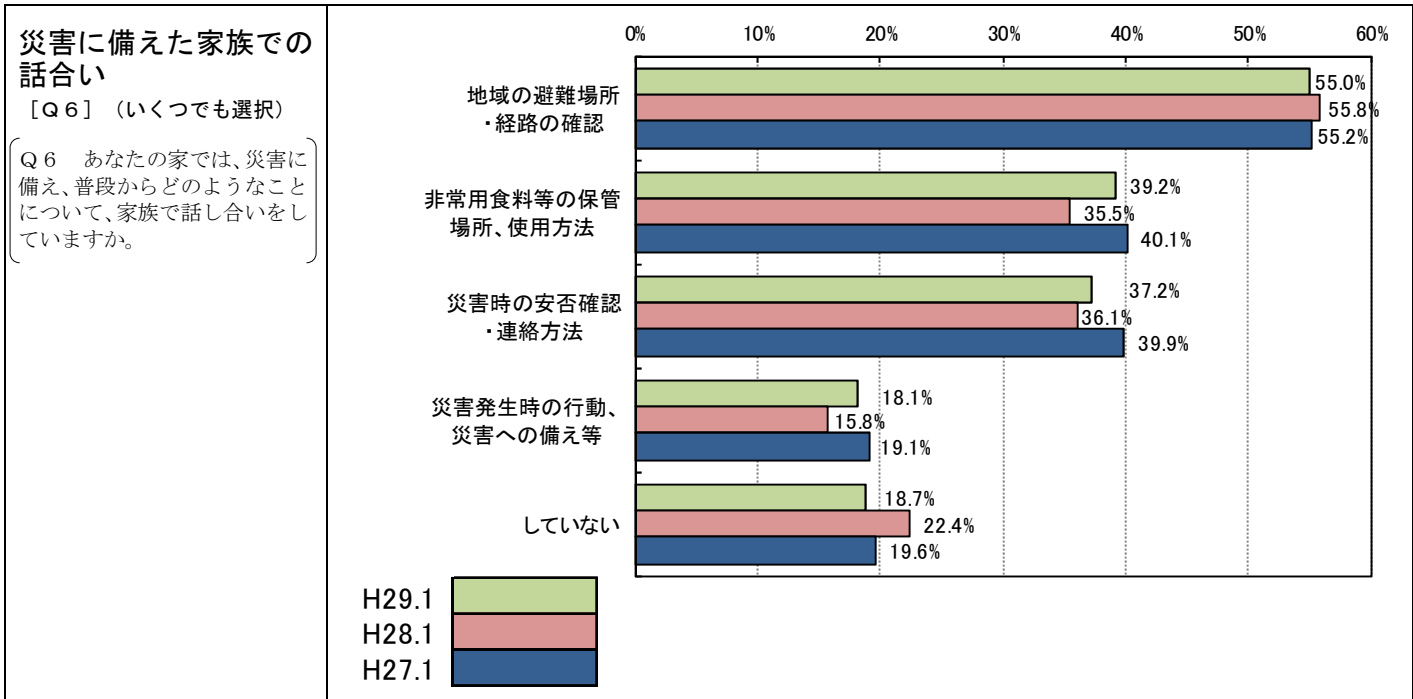
Q4 あなたは、気象情報やハザードマップなどの防災に関する情報を平常時や台風の接近など危険が近づきつつある時にどちらから入手されていますか。



「兵庫県CGハザードマップ」の認知度 [Q5]

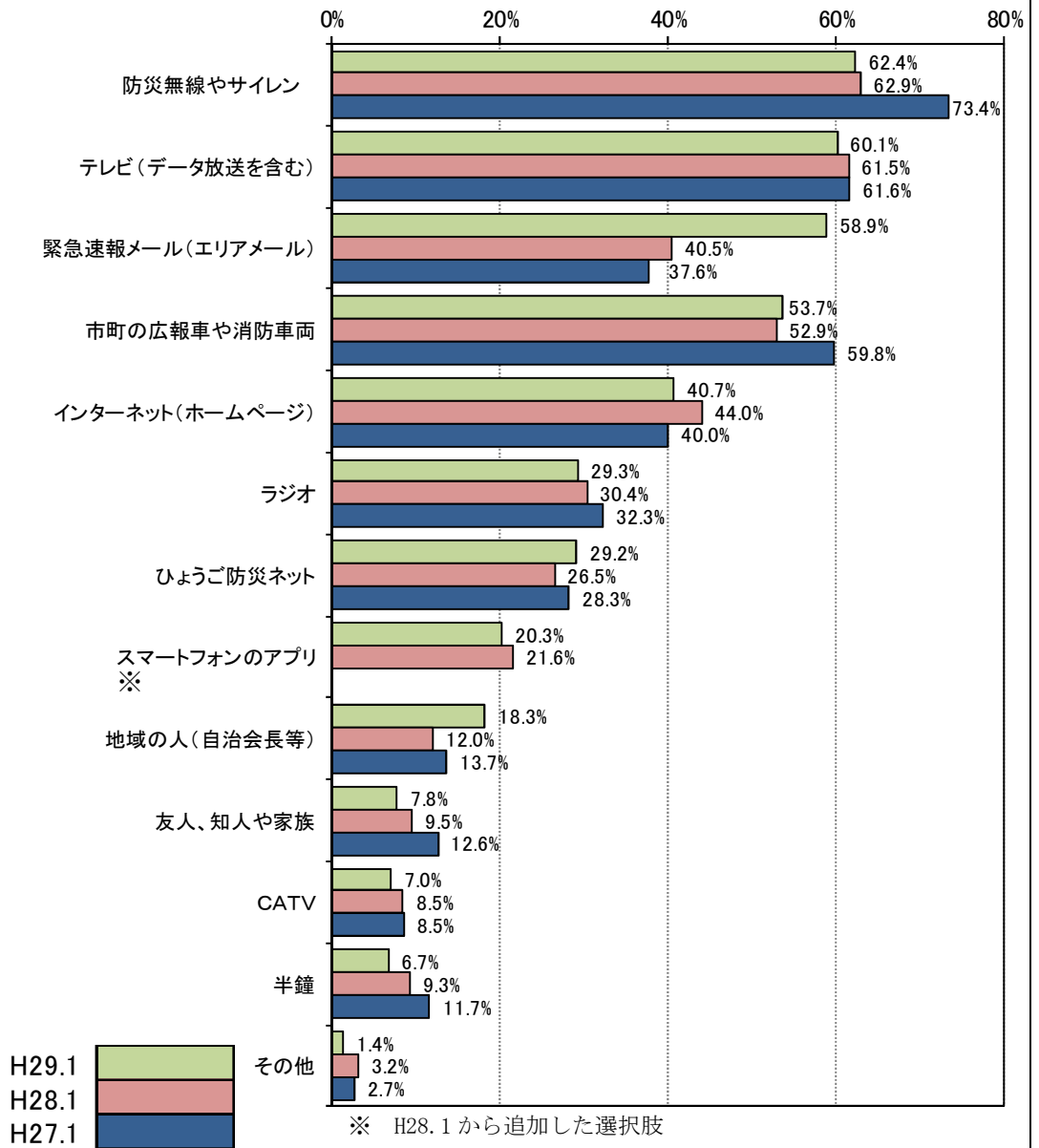
Q5 あなたは「兵庫県CGハザードマップ」を知っていますか。





望ましい避難情報提供手段【Q9】(いくつでも選択)

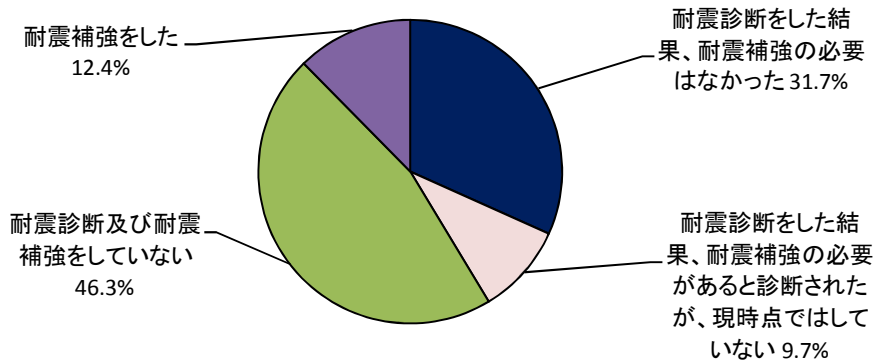
Q9 あなたは、災害時の避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示（緊急）」）について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。あてはまるものをお選びください。



耐震診断・耐震補強の実施状況【Q10】

住んでいる戸建て住宅・マンション等（木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅にかかわらず。賃貸除く。）が、昭和56年以前に建築された人（590人）が回答。

Q10 あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。



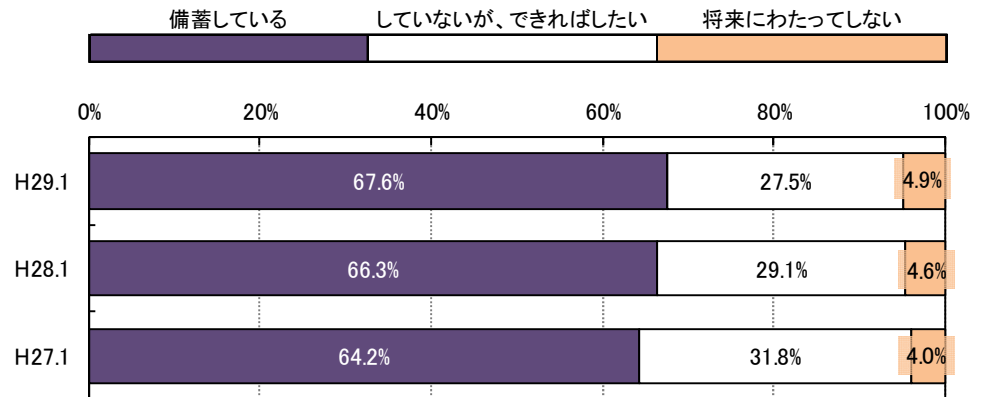
[耐震診断・耐震補強をしていない理由(330件)の内、主なもの]

- ・費用がかかるから(75件)
- ・耐震化しなくても大丈夫だと思っている(35件)

災害への備え [Q11]

Q11 あなたが災害に備えていること、現時点ではしていないが、できればしたいと思っていることについて、あてはまるものを次の中からお選びください。

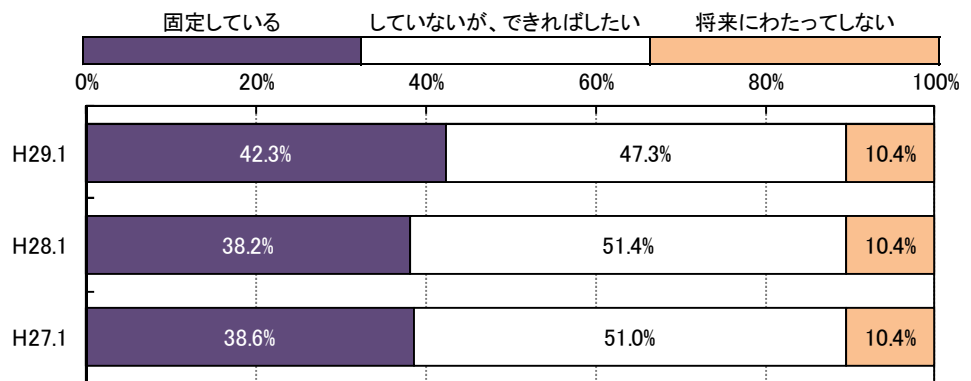
【飲料水や食料品の備蓄】



[していない (しない) 理由(329件)の内、主なもの]

- ・継続的な管理が困難 (59件)
- ・保管場所の確保が困難 (46件)

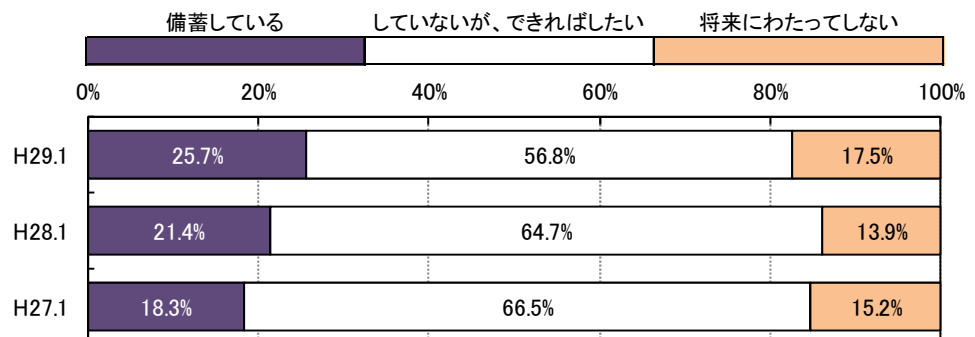
【家具の固定】



[していない (しない) 理由(686件)の内、主なもの]

- ・しようと思っていてできていない(126件)
- ・やり方がわからない・道具がない (73件)

【携帯トイレ又は凝固剤の備蓄】



[していない (しない) 理由(785件)の内、主なもの]

- ・無くてもなんとかなる (144件)
- ・しようと思っていてできていない (102件)

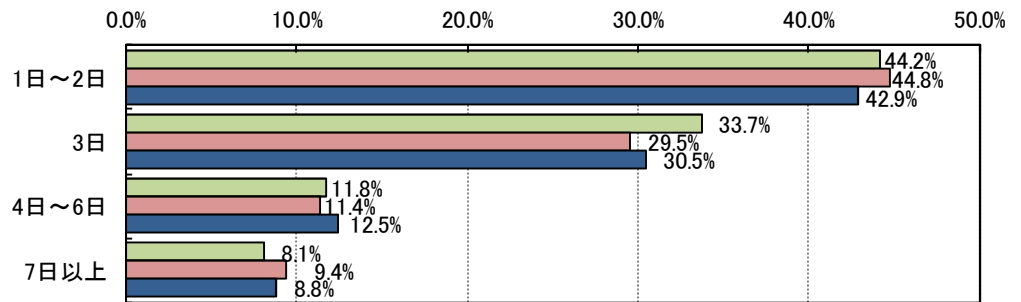
**飲料水や食料品の備蓄**  
[Q11-2]

[Q11]で「飲料水や食料品の備蓄をしている」と答えた人に質問

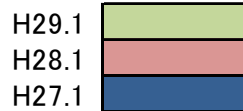
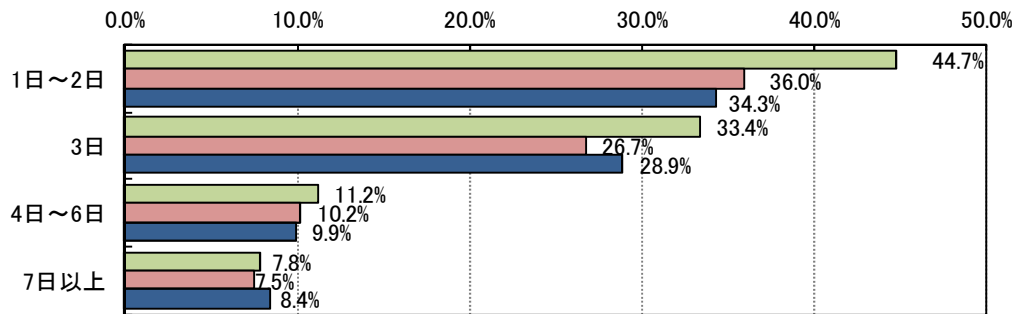
Q11 家庭での備蓄は何日分ですか。〔飲料水〕と〔食料品〕それぞれ一つずつ

※ 1日分は、飲料水では一人3リットル、食料品では3食分を目安に、それぞれ家族全員で何日分備蓄があるかお答えください。

**【飲料水】**

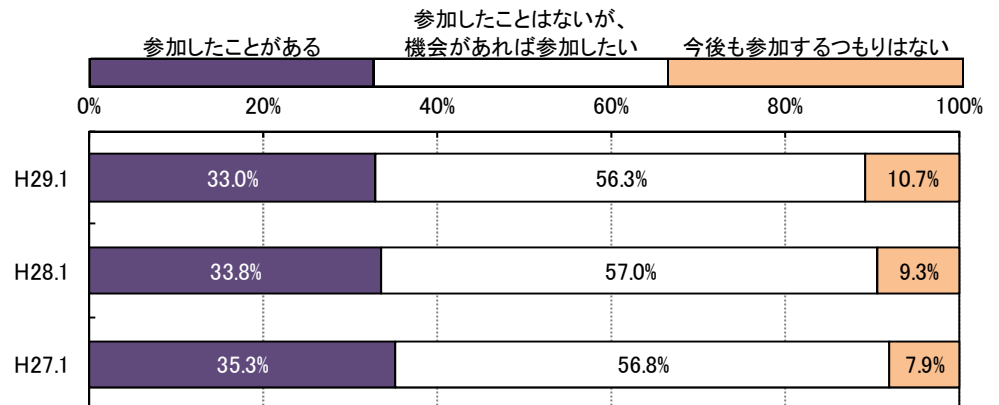


**【食料品】**



**地域の防災訓練への参加(最近1年以内)**  
[Q12]

Q12 あなたは、この1年以内に地域の自然災害に対する防災訓練に参加したことがありますか。

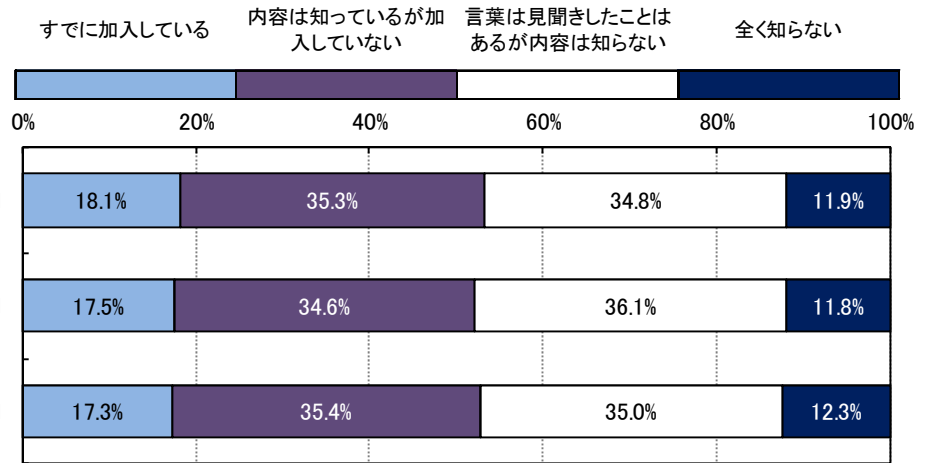


[参加したことがない(するつもりはない)理由(879件)の内、主なもの]

- ・タイミングが合わない (271件)
- ・日程を知らない、情報がない (242件)

**兵庫県住宅再建共済制度の認知度 [Q13]**

Q13 あなたは、兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）をご存じですか。

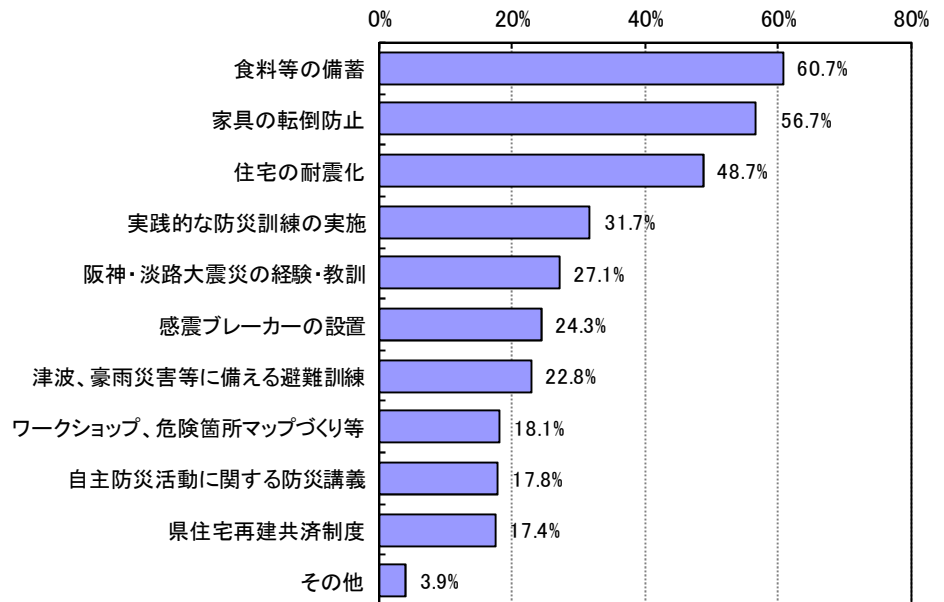


[加入していない理由(479件)の内、主なもの]

- ・他の保険に加入している (213件)
- ・マンション、賃貸住宅のため (44件)

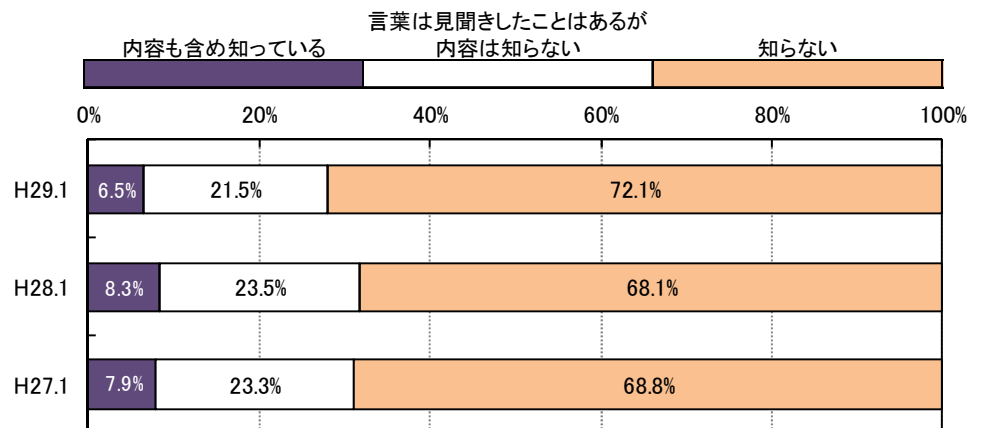
**防災対策の関心度 [Q14] (いくつでも選択)**

Q14 あなたは、防災対策として関心があるものはどれですか。



**「ひょうご安全の日推進事業助成制度」の認知度 [Q15]**

Q15 県民の自主的な防災活動を経費面で支援する「ひょうご安全の日推進事業助成制度」を知っていますか。

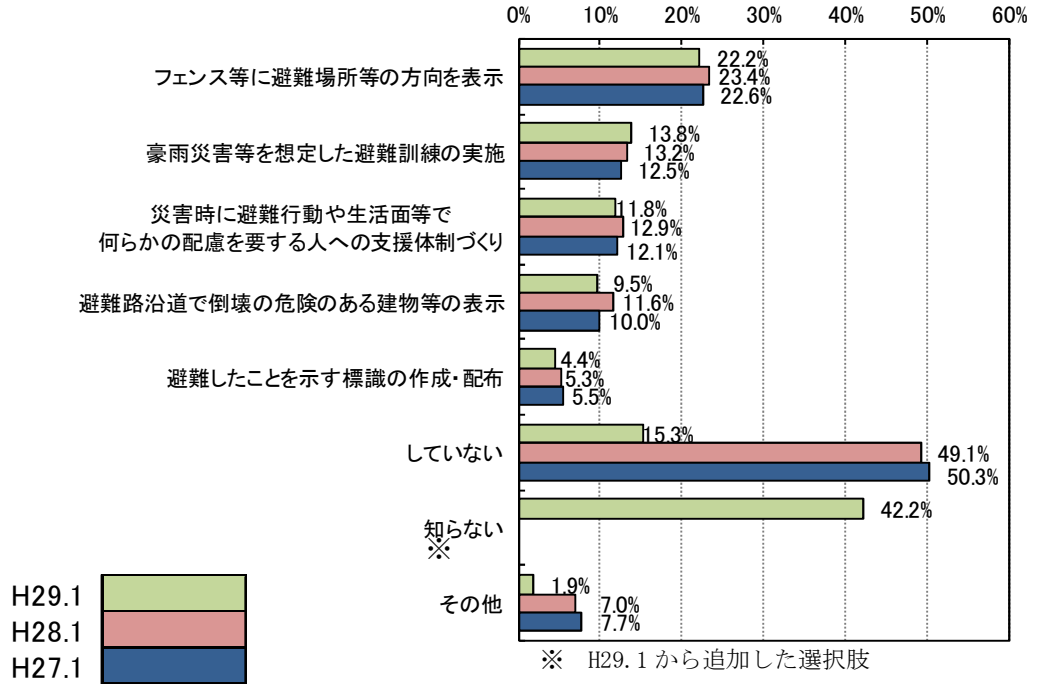




### 安全な避難のための地域での取組

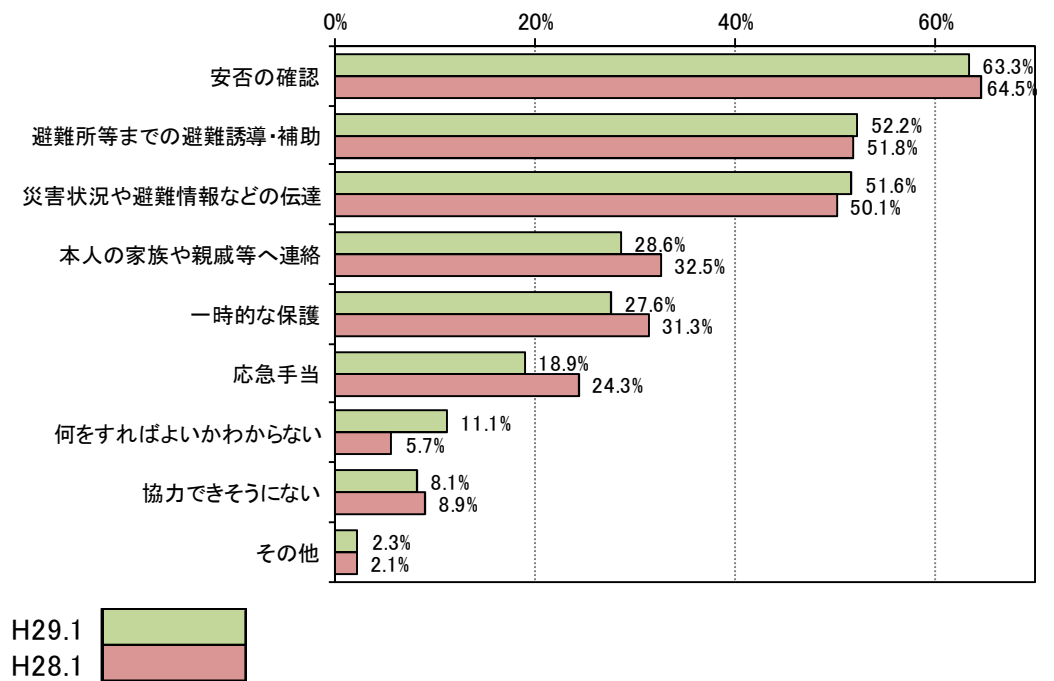
[Q16] (いくつでも選択)

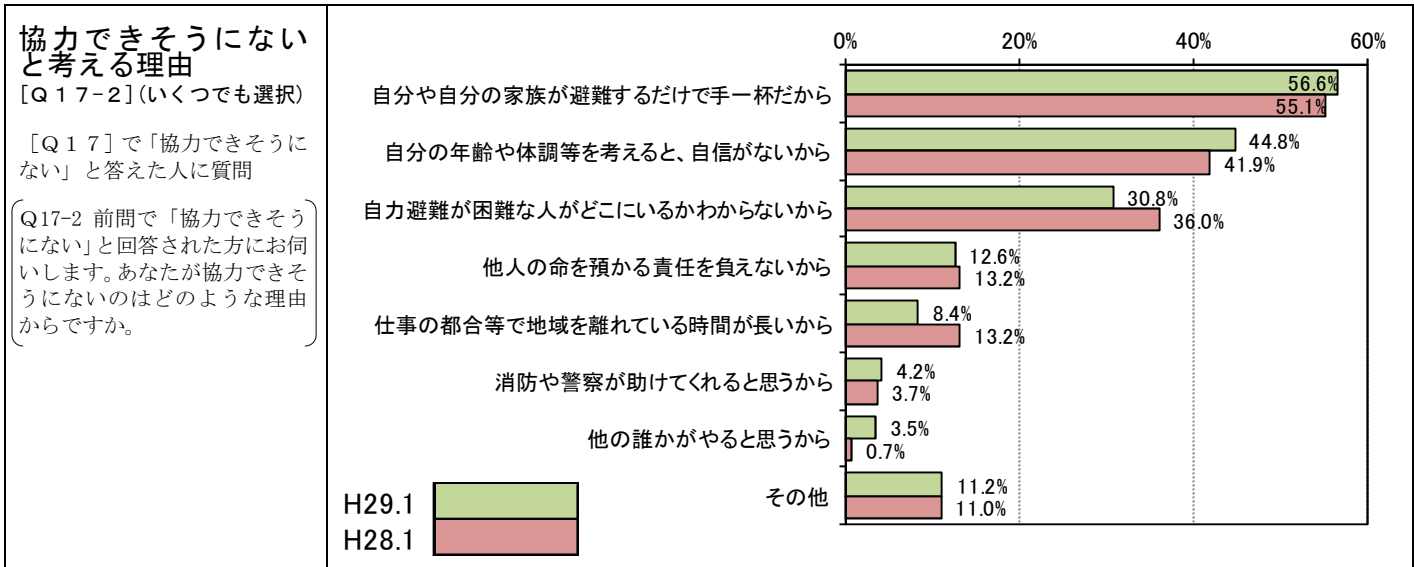
Q16 津波や豪雨災害において安全に避難するために、あなたの地域で取り組まれていることは何ですか。



### 要援護者の避難への協力 [Q17] (いくつでも選択)

Q17 地震や豪雨などの災害が発生したときに、あなたの近所に住んでいる高齢者、障害者、妊産婦、外国人など、自力で避難することが困難な人(あなたの家族を除く)に対して、あなたはどのような協力ができそうだと思いますか。





**【 問い合わせ先 】**

企画県民部広報課広聴室 (TEL078-362-3021)

(参考) 平成 28 年度県民モニター調査実績

○平成 28 年度調査実績

回	調査テーマ	調査期間	回答率
第 1 回	食の安全安心について	4 月 21 日～5 月 5 日	79.4%
第 2 回	地球温暖化対策と総合治水の取組について	7 月 13 日～7 月 27 日	71.2%
第 3 回	消費生活について	9 月 20 日～10 月 4 日	74.8%
第 4 回	県民の防災意識及び取組状況	1 月 5 日～1 月 19 日	71.0%

○対象者及び回答者属性別実績

区分		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	4 回とも回答した人数	
総数	対象者(人)	2,157	2,248	2,401	2,480	1,186	
	回答者(人)	1,713	1,600	1,796	1,761		
	回答率	79.4%	71.2%	74.8%	71.0%		
性別	男性	対象者(人)	1,092	1,121	1,181	1,216	686
		回答者(人)	930	856	939	957	
		回答率	85.2%	76.4%	79.5%	78.7%	
	女性	対象者(人)	1,065	1,127	1,220	1,264	500
		回答者(人)	783	744	857	804	
		回答率	73.5%	66.0%	70.2%	63.6%	
年代別	10～20 代	対象者(人)	133	148	167	183	40
		回答者(人)	81	75	99	93	
		回答率	60.9%	50.7%	59.3%	50.8%	
	30 代	対象者(人)	274	293	322	337	94
		回答者(人)	175	163	197	192	
		回答率	63.9%	55.6%	61.2%	57.0%	
	40 代	対象者(人)	426	448	477	496	198
		回答者(人)	314	300	329	331	
		回答率	73.7%	67.0%	69.0%	66.7%	
	50 代	対象者(人)	414	429	457	467	237
		回答者(人)	344	303	346	338	
		回答率	83.1%	70.6%	75.7%	72.4%	
	60 代	対象者(人)	480	496	531	544	322
		回答者(人)	426	402	448	441	
		回答率	88.8%	81.0%	84.4%	81.1%	
	70 代以上	対象者(人)	430	434	447	453	295
		回答者(人)	373	357	377	366	
		回答率	86.7%	82.3%	84.3%	80.8%	

○過去 3 年の実績

年度	回	調査テーマ	回答率
H27	第 1 回	動物愛護に関する意識について	76.6%
	第 2 回	地域安全まちづくりの推進について	70.6%
	第 3 回	認知症対策について	70.4%
	第 4 回	県民の防災意識及び取組状況	66.0%
H26	第 1 回	ひょうごのユニバーサル社会づくりと介護について	74.2%
	第 2 回	ひょうごの緑化と総合治水の取組について	67.6%
	第 3 回	男女共同参画に関する意識調査について	65.5%
	第 4 回	県民の防災意識及び取組状況	64.1%
H25	第 1 回	次代を担う人づくりについて	74.6%
	第 2 回	健康対策について	69.8%
	第 3 回	芸術文化と国際交流について	64.9%
	第 4 回	県民の防災意識及び取組状況	60.8%

